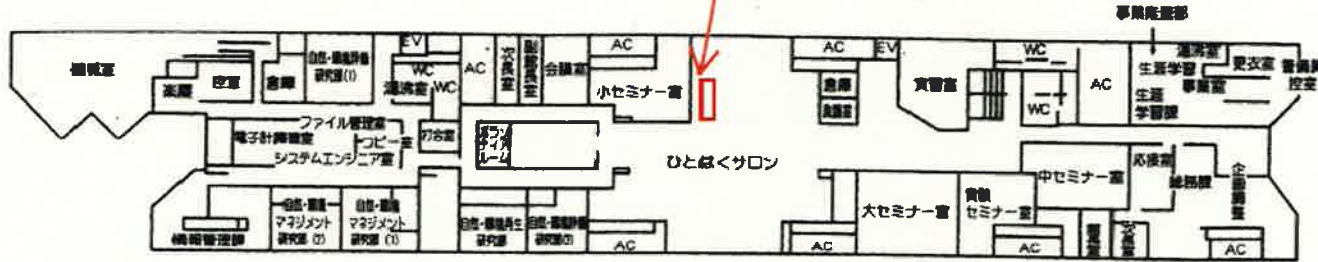


●本館

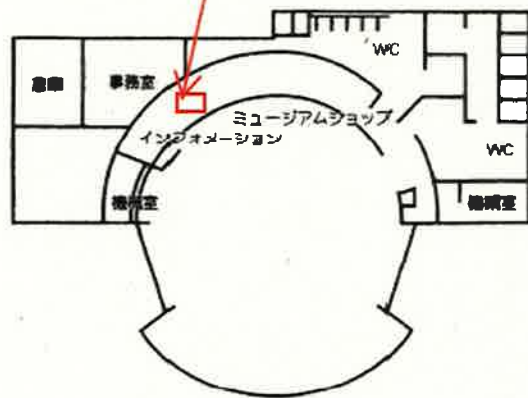
4階

自販機番号① カップ式飲料水
自販機番号② 清涼飲料水



エントランスホール

自販機番号③ 清涼飲料水





▲博物館のすぐ隣には、広大な芝生広場(深田公園)があり、開放的なオープンスペースとなっています。



丹波市山南町で発見されたタンパティタニス・アミキティアエの化石や、同時に発見された他の恐竜の歯、小動物の化石なども展示しています。



“モノ”と“コミ”が、豊かに暮らしのあり方や環境問題を問いかけます。動植物のすみかでもある自然と人とのつきあい方を考えた新しいまちづくりと生活スタイルを提案しています。



ラフレシアやオランウータンなど、赤道直下のホルネオ島の貴重な標本類を展示しています。熱帯雨林を体感しながら「共生の森」について学ぶことができます。



南北とも海に接し、気候の変化が大きい兵庫県の特徴ある自然を大型パネル・映像・ジオラマなどで紹介しています。「森に生きる」では兵庫県で見られる野生動物をはく製で紹介しています。



博物館に寄せられた多数のコレクションについて、標本を見てその意味を知り、ナチュラリスト達のような思いで何を夢見て収集してきたのかを感じ取ってください。



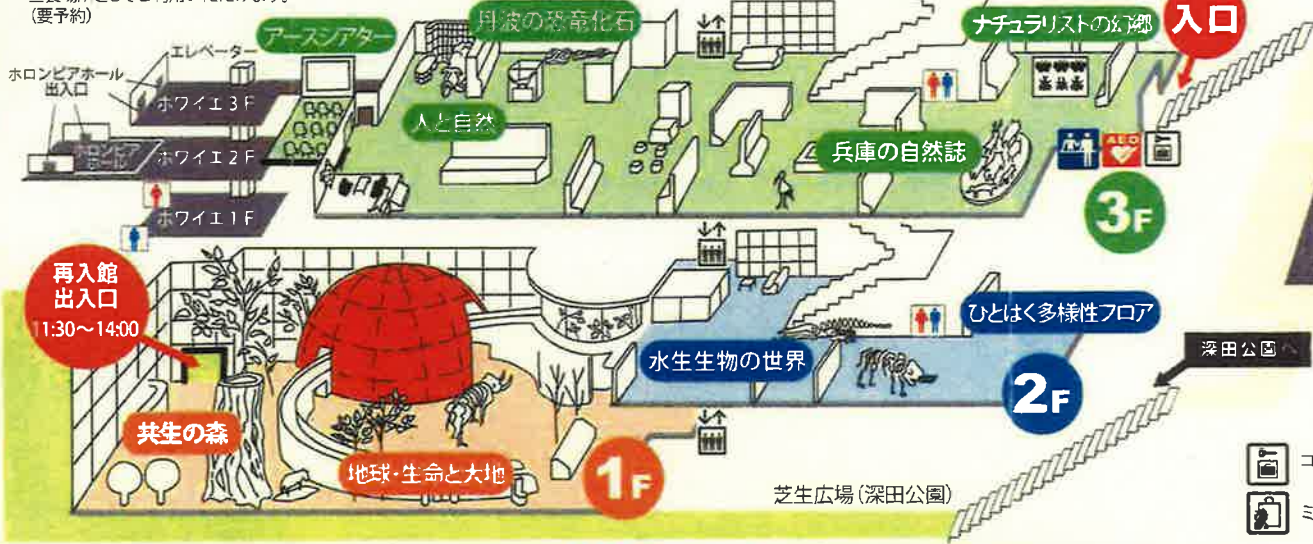
自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「休憩コーナー」などがあります。ワークショップやイベントが開催されます。



恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひとほく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることが出来ます。



▲ホワイエ2、3Fは団体の雨天時昼食場所としてご利用いただけます。(要予約)



- インフォメーション
- 受付
- 休憩コーナー
- 図書コーナー
- 教誨室
- 授乳室
- コインロッカー
- ミュージアムショップ



約35億年前の生命誕生から人類誕生までの生物の歴史を、多くの化石標本でたどっています。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介しています。



ナガスクジラの骨格標本やアオザメのはく製といった海に暮らす大型の生物を展示しています。また、河川における淡水魚の分布と生活を例にあげて生態系のしくみを解説しています。



2012年10月に、開館20周年を記念し新たにオープンしました。本物の標本や資料にふれることができ、研究員などによる演説や期間限定の展示もおこなっています。

傘、ラケット、ボールなどは館内に持ち込めません。
手荷物は無料ロッカーをご利用ください。
館内での飲食・喫煙はご遠慮ください。
※4階ひとほくサロンの休憩コーナーは飲食可能です。飲料自動販売機も設置しています。
喫煙は、3階入口外とエントランスホール外に灰皿を設置しています。

当日に限り館内への再入場が可能です。観覧券の半券をご提示ください。